

点字考案 201 年目 歴史を学び、そして未来へ

◆開催にあたって

昨年は、ルイ・ブライユが点字を考案してから 200 年という歴史的節目の年に当たり、全国各地で点字に関する講演会やシンポジウムが開催されました。

考案から 201 年目を迎えた本年、本講演会では、点字の歴史的展開と社会的意義を改めて振り返り、点字が視覚障害者の自立および社会参加をどのように支えてきたのかを確認すると共に、教育・福祉・情報保障の各分野において今後果たし得る役割とその可能性について考える機会とすることを目的としています。

「岸博実先生講演会」実行委員会 実行委員長 吉田 重子

◆講師／^{きし}岸 ^{ひろみ}博実 氏（日本盲教育史研究会事務局長）

1949 年、島根県生まれ。広島大学教育学部卒業。京都府立盲学校教諭を経て、京都女子大学他の非常勤講師を歴任し、現在、京都府立盲学校資料室ボランティア。2012 年より日本盲教育史研究会事務局長を務める。2020 年、第 17 回本間一夫文化賞（社会福祉法人日本点字図書館）を受賞。

日本最初の盲学校である京都盲啞院関係資料の整理・研究に携わり、「京都盲啞院関係資料」の国の重要文化財指定に協力。その活動は京都にとどまらず、全国各地に埋もれていた近代盲教育関係資料の発掘・保存へと広がり、盲教育の歴史を後世に伝えている。近年の主な著書に、『学校・施設アーカイブズ入門』（共著、大空社、2015）、『視覚障害教育の源流をたどる 京都盲啞院モノがたり』（明石書店、2019）、『盲教育史の手ざわり「人間の尊厳」を求めて』（小さき社、2020）などがある。

日 時 2026 年 4 月 25 日（土）14 時～16 時 30 分

会 場 札幌市視聴覚障がい者情報センター 2F 大会議室
（札幌市中央区大通西 19 丁目 1）

定 員 80 名程度

参加費 1,000 円（講師交通費／資料代）

申込方法 お電話またはメールにて、以下の内容をお知らせください。

- ・お名前
- ・お電話番号
- ・所属（団体名 または 個人）
- ・資料の形式（点字／拡大文字／墨字）

申込先 「岸博実先生講演会」実行委員会

電話 090-8709-1610

メール sapporobrailllecture@gmail.com

申込締切 4 月 15 日（水）

◆主催／「岸博実先生講演会」実行委員会

